



2021年度 活動報告書

2021年4月～2022年3月

一般財団法人 再エネ協同基金



Instagram

20211120 春日山原始林を歩こう
「空洞化した切り株の中で育つコナラの幼木」



Facebook

ごあいさつ



世界は「気候危機」を確認し、2050年までにCO₂排出ゼロの目標を掲げ、日本政府も「2050年CO₂ゼロ」を宣言しましたが、具体的な政策がたち遅れています。先進企業での「RE100」表明などを支持しながら、私たち市民も政府や企業への要望とともに、暮らしにおいて具体的な工夫を重ねることが大切です。再エネ協同基金では昨年度に2025年までの長期計画を策定し、いっそう積極的に活動を支援してまいりますので、今年度も一緒にさらなる活動推進をよろしくお願い申し上げます。

一般財団法人 再エネ協同基金
理事長 瀧川 潔



依然としてコロナ禍が続いていますが、気候危機も「待ったなし」の段階です。COP26での「今後の気温上昇を1.5℃未満に抑制する」という合意に基づき、各国に2022年中に30年までの温室効果ガス排出抑制目標の見直しが求められます。日本の場合、30年に2013年度比46%を表明していますが、50-60%削減を目指すべきです。そのために発電量中の再生可能エネルギー比率も政府見通しの30年に36-38%ではなく50%以上にし、再エネ100%社会を目指さねばなりません。再エネ協同基金の取り組みにご協力、ご参加いただき、気候危機を克服できる持続可能な社会の実現を目指しましょう。

一般財団法人 再エネ協同基金
評議員長 和田 武

2021年度 会員数・会費の使いみち

個人会員 719人
法人会員 24団体

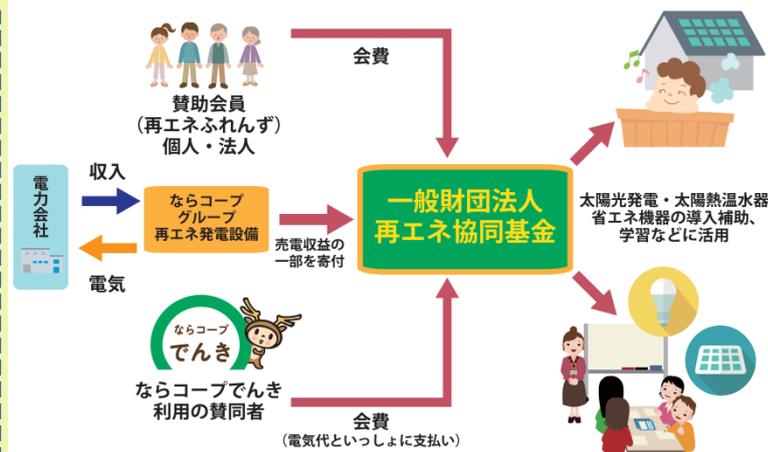
《収入》

会費収入 : 516,000円
寄付金収入 : 4,000,000円
※市民生活協同組合ならコープ
(株)コープエナジーなら・個人寄付など

《会費・寄付金の使いみち》

学習事業 : 559,000円
助成事業 : 1,070,000円

(一財) 再エネ協同基金



2021年度 学習活動（参加人数のべ 145人）

NPO 法人奈良ストップ温暖化の会やア・マ・テ・ラ・ス等と協力し 14 講座を開催しました。コロナウイルス感染拡大予防のため、少人数開催やオンライン開催を余儀なくされた講座が多かったものの、野外講座を中心に多くの方にご参加いただきました。東吉野村の自然の美しさと 105メートルの高さを誇る導水管に圧倒される「つくばね発電所見学」や、カヤの実クッキングや漆の原木染めを通して、自然の恵みを利用し省エネで暮す智恵を学ぶ「曾爾村満喫体験」、地球温暖化による異常気象や外来種の影響を肌で感じる事が出来る「春日山原始林を歩こう」、オイル缶を再利用した可愛くて災害時にも使える「ロケットストーブ作り」などが人気でした。子ども向け夏休み講座「エコハウスの模型を作ろう」では、将来本物のエコハウスを作りたいという建築家志望の小学生が参加してくれ、徐々にではありますが環境学習の根付きを感じました。



2021/8/9
エコハウスの模型を作ろう



2021/11/12 つくばね発電所見学



2021/12/4
ロケットストーブ作り



2021/11/20
春日山原始林散歩



2021/10/20 曾爾村満喫体験



2021/10/2、16
オンライン講座 鍋帽子づくりと保温調理



2021/8/9
ソーラークッカーづくり

項目	申請件数	助成金額
太陽熱温水器	50,000	1 40,000
ペレットストーブ・薪ストーブ	50,000	1 40,000
太陽光発電 1kWあたり	10,000	10 300,000
住宅用定置型蓄電池 1kWあたり	10,000	12 480,000
断熱窓		3 90,000
冷蔵庫、エアコンの買替	5,000	1 0
節水型トイレ 一台につき	10,000	2 20,000
発電事業	50,000	1 50,000
EV自動車購入	50,000	3 50,000
V2Hシステム導入	100,000	0 0
調査研究・学習活動	50,000	0 0
合計		34 1,070,000

2021年度助成事業

助成額 1,070,000円

再エネふれんず会員が再生可能エネルギーや省エネルギー機器を導入した場合、費用の一部を助成しています。2021年度は太陽光発電設備・蓄電池の導入等 34件、総額 1,070,000円を助成しました。

ならコープ下市ステーションに薪ストーブを設置しました

ならコープ下市ステーションをご存じでしょうか。2021年4月、吉野郡下市町の南都銀行旧下市支店の建物を活用して開設され、ならコープ商品の受取りや宅配、人が集う地域コミュニティづくりの拠点として、又災害時には近隣のみなさんの避難所として、その役割が期待されています。太陽光発電システムと蓄電池、さらにEV（電気自動車）とV2Hシステム（災害時にEVから建物に電力を供給するしくみ）を備えていた下市ステーションに、この度新たに（一財）再エネ協同基金が薪ストーブを設置いたしました。

薪ストーブはドイツ製のアイアン・ドッグ No7。日本向けに開発され、燃焼効率 85.3%を実現しています。今後は吉野の豊富な木材資源を活用し、身近で親しみやすく、頼れるエコステーションとして、又、林業と環境、エネルギーの持続可能な関係性を模索するモデルケースとして活躍する予定です。ご紹介のためのイベント等も企画しております。お近くに来られた際はお気軽にお立ち寄りください。



～賛助会員募集～

再生可能エネルギーや省エネルギーを推進する仲間、再エネふれんずを募集しています。一緒に地球の未来を考えましょう。

年会費 1口1,000円（個人会員1口・法人会員（非営利法人除く）10口以上で受付）
再エネふれんずになると助成金の給付のほかに、学習企画参加費の半額補助が受けられます。
詳しくはホームページにてご確認ください。

〒630-8503 奈良県奈良市恋の窪一丁目2番2号

TEL. 0742-33-9528 FAX. 0742-34-8060

ホームページ：<https://www.naracoop.or.jp/saiene/>